

# **第 1 回地区庶務担当理事連絡協議会**

と き 平成 26 年 4 月 23 日（水）午後 2 時 30 分

## **△北川副会長挨拶**

北川副会長は冒頭の挨拶で、米国のオバマ大統領来日に触れ、T P P 交渉について、農産物や自動車等の交渉の陰に隠れているが、医薬品や保険についても動向を注視していく必要があるとの認識を示した。また、韓国の旅客船沈没については安全意識、危機管理の欠如から起きた痛ましい事故であるとして、日常から危機意識、十分な検証の重要性を認識する必要があるとの考えを示した。

また、医療・介護サービス提供体制改革のための新たな基金創設については、病床の機能分化を含めた地域医療ビジョン策定のために、行政と医師会との十分な協議が必要であるとして、地区医の意見を聞きながら進めていく意向を示すとともに、地区医で在宅医療関連の事業の構想があれば府医まで順次ご相談いただくよう依頼した。

## **△報告ならびに協議事項**

### **1. 庶務関係連絡事項について（濱島理事）**

「地区医師会長への連絡依頼事項」を各地区に配布するとともに、府医事務局休務時（ゴールデンウィーク・年末年始）における会員ご逝去の際の弔辞、供花等の手配について協力を依頼した。

### **2. 最近の中央情勢について（城守理事）**

3 月下旬から 4 月中旬にかけての社会・医療保険状況について、選択療養や医療・介護一括法案の話題を中心に説明した。

### **3. 府医作成の診療録（カルテ）の様式変更について（内田理事）**

府医で作成しているカルテの 1 号様式について、従来は医保本人（黒）、医保家族（赤）、国保（青）の 3 種類を、便宜的に使いやすい内容にして販売していたが、厚労省が定める様式が 1 種類であることから、全ての項目を統一して 6 月 1 日から販売することを報告。利便性等から、色分けした 3 種類の作成は継続すること、旧様式も引き続き使用することが可能であると説明し、各会員には京都医報 5 月 1 日号、5 月 15 日号の保険だよりで周知する予定であることを報告した。

### **4. 風しん抗体検査・予防接種公費負担事業について（藤田理事）**

4 月から実施されている風しん抗体検査について、再度周知を行うとともに、京都市を除く府民が受ける場合は、請求書を出す際に「風しん抗体検査実施状況報告」を添付する必要があると説明した。（京都医報 2014 年 4 月 15 日号 (No. 2027) P. 49 参照）

また、同じく 4 月から実施されている風しんの予防接種の一部公費負担については、京都府の単独事業であり、国の事業である抗体検査とは全く別のものであると強調。予防接種自体は先天性風しん症候群の予防を趣旨としており、抗体検査に縛られずにワクチン接種が可能であると説明した。公費助成の対象者は、①妊娠を希望する女性のうち抗体価の低い者、②抗体価が低い妊婦の同居者（配偶者等）のうち抗体価が低い者、③抗体価が低

い妊娠を希望する女性の同居者のうち抗体価が低い者一であり、抗体価は抗体検査結果の他、本人の母子手帳による予防接種歴、既往歴等により確認することを説明するとともに、母子手帳等による確認ができない時は、京都府との申し合わせにより、本人からの申立書の提出で代えることができると報告した。ただし、予防接種の取り扱いは市町村によって異なる可能性もあるため、各地区医で行政と調整をしていただきたいと依頼した。

#### **5. ポリオワクチンに関するQ&Aの改訂について（藤田理事）**

3種混合ワクチンを順次製造中止とする方向でメーカーが進んでいることから、3種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンを接種途中でワクチンがなくなってしまう子どもが出てくる可能性があるとの説明。今般厚労省が改訂したポリオワクチンに関するQ&Aの内容を説明するとともに、管内卸業者に在庫がない場合は厚労省へ連絡すればワクチンの手配は出来るものの、対象者を掘り起こして早めにワクチン接種を勧めていただくよう依頼した。

#### **6. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）**

5月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し多数の参加を呼びかけた。

#### **7. 平成26年度京都府医師会会員福祉事業の予定について（小野理事）**

平成26年度の府医会員福祉事業の予定を紹介するとともに、奮ってご参加いただくよう地区での周知を依頼した。

#### **8. その他**

なし。

#### **9. 地区からのご意見・ご要望**

##### **【上東】**

**厚労省が作成している、医療機関向け新型インフルエンザ対策の動画について、この内容をまとめた冊子、対策ガイドのようなものをどこかが作成する予定はあるのか。**

藤田府医理事は、冊子配布等は考えていないが、必要があれば「Be Well」のようなパンフレットを作成すると説明した。

**地域包括診療加算の届出について、要件となっている「関係団体主催の研修修了」を示すものは何か。**

内田府医理事は、現在のところQ&Aで出ている範囲以上の通知は出ていないため、今後具体的なものが出てくるとの見通しを示した。また、北川府医副会長はかかりつけ医の機能向上や主治医の質の向上のため、例年年度末に開催している主治医研修会について、診療報酬との絡みが出てきたことから、今年度はできるだけ早く開催し、多くの会員が参加できるようにする意向を示した。